

異常な行動が記録されている事例の集計
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

患者背景、発現時期に関する集計

1. 患者年齢別①

年齢	症例数	(%)
10歳未満	17	30%
10代	38	67%
20代	1	2%
30代	1	2%
40代	0	0%
50代	0	0%
60代	0	0%
70代	0	0%
80代	0	0%
90代	0	0%
合計	57	100%
不明	0	
総計	57	

患者年齢別②

年齢	症例数	(%)
6歳以下	3	5%
7歳から9歳	14	25%
10歳から12歳	24	42%
13歳から15歳	11	19%
16歳から18歳	2	4%
19歳以上	3	5%
合計	57	100%
不明	0	
総計	57	

2. 性別

性別	症例数	(%)
女性	12	21%
男性	44	79%
合計	56	100%
不明	1	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

3. インフルエンザウイルス型別

	症例数	(%)
A型インフルエンザ	43	75%
A&B型インフルエンザ	0	0%
B型インフルエンザ	5	9%
型不明	9	16%
不明	0	0%
予防	0	0%
総計	57	100%

4. 異常な行動の発現時期別

①【年別】

	症例数	(%)
2000	0	0%
2001	0	0%
2002	0	0%
2003	0	0%
2004	0	0%
2005	0	0%
2006	0	0%
2007	29	52%
2008	27	48%
小計	56	100%
不明	1	
総計	57	

②【シーズン別】

	症例数	(%)
2000-2001シーズン	0	0%
2001-2002シーズン	0	0%
2002-2003シーズン	0	0%
2003-2004シーズン	0	0%
2004-2005シーズン	0	0%
2005-2006シーズン	0	0%
2006-2007シーズン	10	18%
2007-2008シーズン	47	82%
小計	57	100%
不明	0	
総計	57	

シーズン；8月から7月

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

5. インフルエンザ発症から異常な行動の発現までの病日*

病日	症例数	(%)
1	19 ^{注1)}	37%
2	28 ^{注2)}	55%
3	4	8%
4	0	0%
5	0	0%
6以上	0	0%
小計	51	100%
不明	6	
総計	57	

発熱日を1病日

注1) 発熱日不明なためインフルエンザの診断日を1病日とした8例を含む

注2) 発熱日不明なためインフルエンザの診断日を1病日とした3例を含む

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

6. 最初の投与から異常な行動の発現までの時間*

	症例数	(%)
1時間未満	3	7%
1時間以上2時間未満	7	17%
2時間以上3時間未満	4	10%
3時間以上4時間未満	1	2%
4時間以上5時間未満	3	7%
5時間以上6時間未満	3	7%
6時間以上12時間未満	9	21%
12時間以上24時間未満	11	26%
24時間以上48時間未満	1	2%
48時間以上	0	0%
不詳	15	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

7. 直前の投与から異常な行動の発現までの時間*

	症例数	(%)
30分未満	4	11%
30分以上1時間未満	0	0%
1時間以上2時間未満	9	24%
2時間以上3時間未満	4	11%
3時間以上4時間未満	3	8%
4時間以上5時間未満	5	13%
5時間以上6時間未満	3	8%
6時間以上12時間未満	10	26%
12時間以上	0	0%
小計	38	100%
不明	19	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

8. 異常な行動の直前の体温(6時間以内)*

①

	症例数	(%)
36度台	2	7%
37度台	3	10%
38度台	10	34%
39度台	11	38%
40度台	2	7%
41度以上	1	3%
小計	29	100%
不明	28 ^{注)}	
総計	57	

注) 体温不明の高熱3例、発熱6例、発熱なし1例を含む。

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

②異常な行動の発現時の体温の経過

	症例数	(%)
発熱持続	33	83%
解熱過程	4	10%
解熱後	3	8%
その他	0	0%
小計	40	100%
不明	17	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

9. 異常な行動の発現時刻別*

	症例数	(%)
0時から6時まで ¹⁾	9	17%
6時から12時まで ²⁾	8	15%
12時から18時まで ³⁾	19	37%
18時から24時まで ⁴⁾	16	31%
小計	52	100%
不明	5	
総計	57	

1) 夜中、夜間発現の2例を含む

2) 朝発現の1例を含む

3) 昼頃発現の2例および夕方発現の1例を含む

4) 夜発現の4例を含む

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

10. 就寝から異常な行動の発現までの時間*

	症例数	(%)
1時間未満	2	29%
1時間以上2時間未満	4	57%
2時間以上3時間未満	0	0%
3時間以上4時間未満	0	0%
4時間以上5時間未満	0	0%
5時間以上	1	14%
合計	7	100%
不明/就寝中でない	50	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計
 (注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

11. 異常な行動の発現が就寝中か否か*

	症例数	(%)
Yes	16	41%
No	25	61%
小計	41	100%
不明	16	
総計	57	

12. 異常な行動の発現が覚醒直後か否か*

	症例数	(%)
Yes	14	34%
No	27	66%
小計	41	100%
不明	16	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

13. 異常な行動が一眠りして回復したか否か*

	症例数	(%)
Yes	28	65%
No	15	35%
小計	43	100%
不明	14	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

14. 異常行動に関する患者の記憶の有無*

	症例数	(%)
有	5	12%
無	37	88%
	42	100%
不明	15	
総計	57	

15. 光に対する反応の有無*

	症例数	(%)
有	1	5%
無	18	95%
	19	100%
不明	38	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

16. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の既往歴の有無

	症例数	(%)
有	7	18%
無	31	82%
小計	38	100%
不明	19	
総計	57	

17. 睡眠時驚愕症又は睡眠時遊行症の家族歴の有無

	症例数	(%)
有	1	3%
無	30	97%
小計	31	100%
不明	26	
総計	57	

18. 異常な行動の回復までの時間*

	症例数	(%)
30分未満	15	65%
30分以上1時間未満	3	13%
1時間以上6時間未満	3	13%
6時間以上24時間未満	1	4%
24時間以上	1	4%
小計	23	100%
不明	34	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

19. 異常な行動^{注)}発現後に投与を継続した症例の状況

	症例数	(%)
異常な行動の発現あり	12	36%
異常な行動の発現なし	21	64%
小計	33	100%
不明	0	
総計	33	

注) 異常な行動を含む精神神経系症状

異常な行動が記録されている事例の集計

(注：複数回事象が発現している症例は、1回目のデータで集計)

20. 他剤による同様な症状の副作用歴の有無

	症例数	(%)
有	0	0%
無	36	100%
小計	36	100%
不明	21	
総計	57	

21. 熱性痙攣の既往歴の有無

	症例数	(%)
有	1	50%
無	1	50%
小計	2	100%
不明	55	
総計	57	

22. 熱性痙攣の家族歴の有無

	症例数	(%)
有	0	0%
無	0	0%
小計	0	0%
不明	57	
総計	57	

異常な行動が記録されている事例の集計

参考1. 主な併用薬剤の内訳

	薬効細分類2	集計
解熱鎮痛消炎剤	アニリン系製剤	27
	サリチル酸系製剤	0
	その他の解熱鎮痛消炎剤	1
	フェニル酢酸系製剤	0
	塩基性消炎鎮痛剤	0
	計	28
去たん剤	システイン系製剤	19
	その他の去たん剤	4
	ブロムヘキシン製剤	0
	植物性製剤	0
	計	23
鎮咳去たん剤	その他の鎮咳去たん剤	0
	植物性製剤	0
	計	0
抗ヒスタミン剤	その他の抗ヒスタミン剤	10
	トリペレナミン系製剤	0
	フェノチアジン系製剤	1
	計	11
鎮咳剤	エフェドリン及びマオウ製剤	0
	その他の鎮咳剤	19
	デキストロメトルファン製剤	4
	計	23
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	オキサセフェム系抗生物質製剤	0
	セフェム系抗生物質製剤	3
	その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用	8
	ペニシリン系抗生物質製剤	1
	計	12
気管支拡張剤	イソプレナリン系製剤	0
	キサンチン系製剤	2
	その他の気管支拡張剤	10
	計	12
消化性潰瘍用剤	H ₂ 遮断剤	0
	その他の消化性潰瘍用剤	1
	計	1

異常な行動が記録されている事例の集計

参考2. 既往症・合併症

医師記載疾患名	既往症	合併症	計
アトピー性皮膚炎			
アレルギー性結膜炎			
アレルギー性鼻炎		2	2
ウイルス性下痢症			
ウイルス性筋炎			
ウイルス性発疹症疑い			
うつ状態			
うつ病			
スギ花粉症			
ぜんそく			
てんかん			
異常興奮			
胃潰瘍			
胃癌術後			
一過性心房細動			
咽頭炎			
右単径ヘルニア			
花粉症	1		1
過呼吸			
感冒			
感冒性消化不良症			
肝障害			
顔面外傷			
川崎病			
期外収縮			
気管支喘息		4	4
急性気管支炎			
急性中耳炎			
強迫性障害			
頸動脈血栓症			
原因不明成長障害			
甲状腺腫大			
高CK血症			
高血圧			
腰部脊椎管狭窄症 (術後)			
骨粗鬆症			
左単径ヘルニア			
細菌感染症(かぜ)			
失明			
上気道炎			
腎不全			

医師記載疾患名	既往症	合併症	計
睡眠時驚愕症	4*		4*
睡眠時遊行症			
髄膜炎			
精神遅滞			
川崎病後冠動脈瘤			
脱水症			
知的障害			
虫垂炎			
陳旧性肺結核			
鉄欠乏性贫血			
糖尿病			
糖尿病性右足壊疽			
統合失調症疑い			
洞不全症候群 (ペースメーカー留置)			
特発性血小板減少性紫斑病			
突発性心房細動			
認知症			
熱射病			
熱性けいれん	1		1
脳炎			
脳梗塞			
肺炎			
肺結核後遺症			
肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全			
不眠症			
不明熱			
副鼻腔炎			
腹痛			
片頭痛 (疑)			
便秘			
慢性心不全			
慢性腎不全			
慢性中耳炎			
夢中遊行			
夢遊症			
夜驚症			
溶連菌感染		1	1
抑うつ神経症			
喘息		3	3
喘息様気管支炎			
計	5	11	16

*寝言を言って起き上がる程度の1例を含む。